

■勝ち

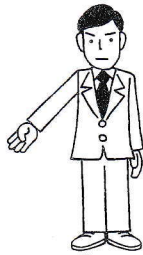


これだけ覚えておけば、組手コート役員は出来ます！

組手審判のジェスチャーはたくさんありますが、役員は全て覚えなくてもいいです。  
主審の「止め！」の後のジェスチャー(ジャッジ)が最終決定です。  
それを得点板に、得点を付けてください。  
要は主審の動きだけ見ていればいいんです。

### ●ポイント

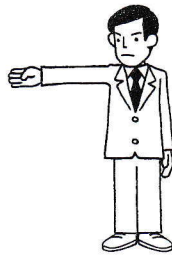
有効



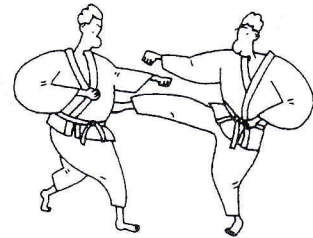
●有効 (1ポイント)  
中段・上段突き、打ち



技有り



●技有り (2ポイント)  
中段蹴り



1本



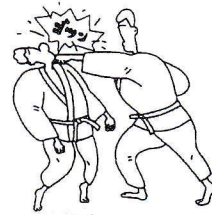
●一本 (3ポイント)  
上段蹴り、又は倒れた相手への有効技



## ●反則

### カテゴリー1 (C1)

一番よくある反則は、対戦相手顔面への攻撃で「当てる」



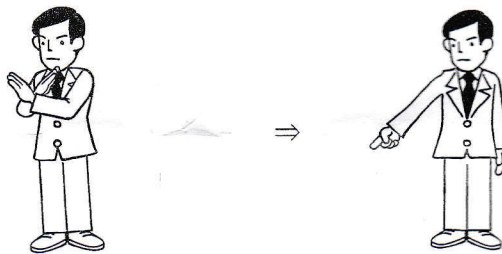
#### 1回目

忠告 (胸の前で腕を交差)



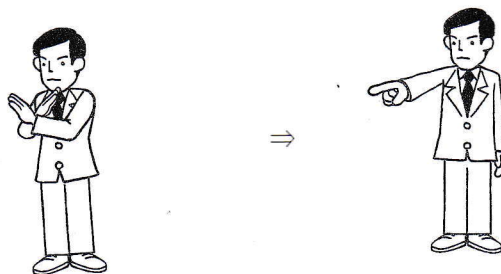
#### 2回目

警告 (胸の前で腕を交差の後、人差し指で選手の足元を指さす)



#### 3回目

反則注意 (胸の前で腕を交差の後、人差し指で選手の顔を指さす)



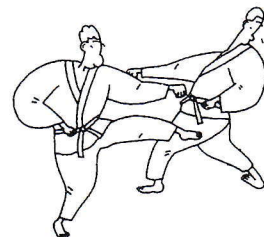
#### 4回目

反則からの失格 (胸の前で腕を交差の後、人差し指でコート外を指さす。腕を回す)



## カテゴリー2 (C2)

一番よくある反則は「場外」。たまにあるのが「つかむ」「押す」。



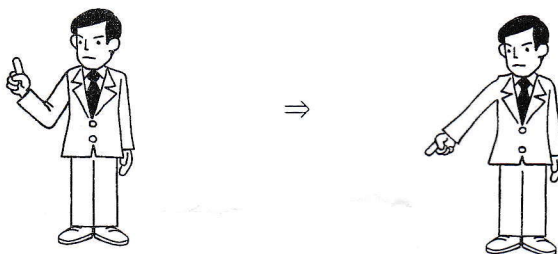
1回目

忠告 (人差し指を立てる)



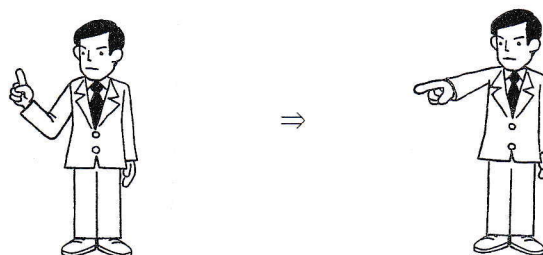
2回目

警告 (人差し指を立てた後、選手の足元を指さす)



3回目

反則注意 (人差し指を立てた後、選手の顔を指さす)



4回目

反則からの失格 (人差し指を立てた後、人差し指でコート外を指さす。腕を後ろへ回す)

